



みんなで止めよう温暖化

「洞爺湖町」チーム・マイナス6%

子供たちにも“エコ”の気持ちが芽生えています

みなさんは、日本が一般廃棄物（私たちの生活から出るごみ）の排出量が世界第2位であることを知っていましたか？

私たちの身近な生活から出されるごみを「一般廃棄物」といいますが、それらを一年間で約5059万tも捨てており、これは東京ドームで換算すると約136個に相当する量で、それを処理するために地球にも人間にも大きな負担をかけています。

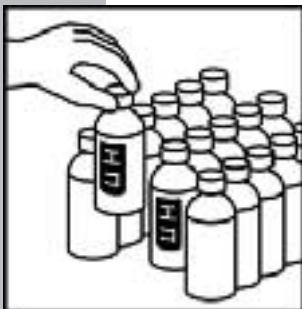


そんな現実を受けて、自分たちの身近なことから勉強して、考え直していこうと、虻田小学校4・5年生で「洞爺湖エコキッズ」を発足しました。現在は8人の会員で構成されていて、主にリサイクルの仕組みや、排気ガス・地球温暖化対策など環境に関することを、楽しみながら学習しています。

また事業の一環として、倶知安町の道栄紙業で紙のリサイクルの過程や、千歳のマテックで缶やその他の資源ごみがどのように再利用されるかの施設見学を行い、普段は何気なく捨てているごみも、活用方法によってはリサイクルできるものがたくさんあることを学びました。



洞爺湖エコキッズへの参加は随時受け付けています。対象は虻田小学校の4年生以上になりますが、みんなが集まれば大きな力になり、大きな行いが出来ます。ぜひ参加を！【問合せ先：役場生活環境課（☎76-3006）】



新しく家電製品を買うときに、ぜひ注目して欲しいのが「省エネ性能」。エアコンや冷蔵庫などは省エネ性能の表示も普及し、購入の際の目安になっています。中には、年間電気料が数万円単位で違うこともあり、特に古い機器を使い続けている場合、買い替えコストと電気代を比べてみると、愕然とする数字が出ることも。お財布にも、環境にも優しい省エネ製品。特に冷蔵庫やエアコンを買い替えの際には、忘れずにチェックしてみてください。